

事務事業マネジメントシート（20年度実績と21年度計画）

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 5 月 19 日 作成

事務事業名		交通安全協会運営支援事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	後藤一男
	施 策	3	交通安全対策の推進			所属課	総務課	担当者名	長島正和
	基本事業	8	交通安全意識の高揚			所属班	交通防災班	(内線)	1225
						法令根拠	大津地区交通安全協会合志支部事業補助金交付要綱		
予算科目		会計 1	款 2	項 1	目 3	事業連番 10037	☐ 20年度で終了 ☐ 21年度から開始		成果優先度評価結果 11 コスト削減優先度評価結果 6
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)									
【事業の内容】 交通の安全と円滑化、交通安全思想の普及徹底のため、交通道德の高揚並びに会員相互の融和等の支援を行う。									
【業務の流れ】									
【主な予算費目】									

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 補助金の支給。 毎年1回の総会への出席。 その他協会主催の行事へ参加。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度と同じ
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) → ア 協会主催行事への参加回数 回 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 大津地区交通安全協会合志支部	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) → ア 支部数 団体 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 活発な交通安全対策事業を行うことができる	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) → ア 協会及び支部での事業達成率 % イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 交通安全意識が高まる。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) → ア 交通安全教室を開催している団体数 団体 イ

(2) 総事業費・指標等の推移

			単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							総トータルコスト (期間限定複数年度のみ記載)		
			都道府県支出金	千円									
			地方債	千円									
			その他	千円									
			繰入金	千円									
			一般財源	千円	539	930	930	947	2,945	2,945		2,945	
	人件費		(A)事業費計	千円	539	930	930	947	2,945	2,945		2,945	0
			うち指定経費	千円									
			うち時間外、特殊勤務手当	千円									
			正規職員従事人数	人		4	4	3	3	3		3	
		延べ業務時間	時間		200	200	200	200	200	200			
		(B)人件費計	千円	0	796	796	796	796	796	796	0		
		トータルコスト(A)+(B)	千円	539	1,726	1,726	1,743	3,741	3,741	3,741	0		
活動指標			ア回	24	25	25	未把握	25	25	25	目標総合計画 22年度		
対象指標			ア団体	1	1	1	1	1	1	1			
成果指標			ア%	100	100	100	100	100	100	100			
上位成果指標			ア団体	68	51	73	70	75	80			80	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

増加する交通事故の抑止と、交通安全活動の啓発及び交通安全運動の推進に寄与することを目的に事業が開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

交通安全協会加入数が減少傾向にあることから、事業費も減少し活動に支障がでる。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

特になし

事務事業名	交通安全協会運営支援事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 活発な交通安全対策事業を行うことで、交通安全意識が高まるので、結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 交通安全協会合志支部が行う交通安全活動が円滑に実施されることで、市内全域の交通安全推進が図られるので、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 年度当初の事業計画が実行できたかどうかを成果指標としており、現状では100%達成できているので、向上の余地はない。今後も現状を維持していくものである。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ☒ 影響有 ⇒【その内容】 協会の会員は免許所有者であり、協会への支援を打ち切るとは、会員からなる協会の交通安全対策に支障を及ぼすと考えられる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 協会の活動を支援するのは、本事業のみである。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 大津地区交通安全協会合志支部事業補助金交付要綱により補助対象経費が規定されており、協会の運営に必要な経費だけの補助である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 協会の事務会計を協会役員に移譲できれば、人件費を削減することが出来る。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 全市民を対象とした交通安全の推進を図るための支援業務であり、公平である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り、反省点) 効率性については、協会の事務局と会計を、市の職員が兼務しているので、協会役員と役割分担ができれば、業務量の削減を行うことができる。
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1)目的の直結度	9	(直結度高い 1～3 直結度中 4～6 直結度低い 7～9)
(2)貢献度	9	(貢献度高い 1～3 貢献度中 4～9 貢献度低い 10～12)

合志市